

報道資料

2023年12月5日
NHK広報局

「ニュースウオッチ9」報道へのBPO意見について

本日、「ニュースウオッチ9」の新型コロナ関連動画について、BPOの放送倫理検証委員会から、放送倫理違反があったとする意見がNHKに通知されました。

NHKでは、この問題が発覚して以降、経緯及び問題点について調査を行い、再発防止に取り組んでいます(別紙をご参照ください)。

【NHKのコメント】

事実を正確に伝えるというニュース・報道番組としての基本を逸脱し、視聴者の信頼を裏切り、遺族の心情を大きく傷つける結果を招いたという指摘を真摯に受け止めます。

取材・制作のあらゆる段階で真実に迫ろうとする基本的な姿勢を再確認し、ジャーナリズム教育の徹底など現在進めている再発防止策を着実に実行し、視聴者の信頼に応えられる番組を取材・制作してまいります。

【参考】

▼放送日:2023年5月15日

▼NHKの調査報告書 2023年7月21日公表

https://www.nhk.or.jp/info/otherpress/pdf/2023/20230721_1.pdf

(別紙)

2023年12月5日

「ニュースウオッチ9動画」報道を受けた再発防止策の実施状況について

放送ガイドラインやジャーナリストとして基本姿勢の徹底

8月から9月にかけて、全国の放送現場で取材・制作にかかわる職員やスタッフを対象に、今回明らかになった課題を共有する勉強会を実施しました。勉強会は本部、地域局で388回開き、計6,387人が参加しました。

10月から12月にかけて、本部と各拠点局単位で、再発防止策についての説明会を開き、この中で、取材・制作にあたっては、取材相手に取材意図を十分説明することや、担当者間で議論を尽くし共通の認識を持つことなど、放送ガイドラインの基本姿勢を徹底することや、ジャーナリストとしての心構えを改めて周知しています。また、世代別・役割別の研修の内容を見直し、再発防止に向けた取り組みを徹底していきます。

リスクチェック機能の強化

今回の問題では、提案票を詳しく確認せずリスクを把握しないままロケや制作が行われていたことから、本部と地域局のニュース番組に提案時点でのリスクをチェックする「ニュースの提案チェックシート」を新たに導入しました。遺族取材など慎重な対応が求められる内容を含む場合は、原則、使用することとしました。

また、今回のような「エンドV」は「複眼的試写」の対象に明確に位置付けられていませんでしたが、遺族取材など慎重な対応が求められる内容を含む場合は、放送時間の長さに関わりなく、番組の編集責任者などの判断で「複眼的試写」を行うこととし、チェック機能をより強化しました。また、「複眼的試写」の実効性を高めるため、試写の際に使用するチェックシートを見直しました。

責任ある取材・制作体制の構築

今回の問題では、上司のCLや編責がみずからの役割を果たしていなかったことから、責任ある取材・制作体制を構築するため、上司や編責の権限や役割を明確に定義しました。例えば、編責は、すべての項目の取材・制作における品質管理・リスク管理を行うことなどを明記しました。このほか、本部・地域局に配置している、番組やコンテンツの内容の正確さやリスクについてチェックする「コンテンツ品質管理責任者」の役割をあらためて周知・徹底しました。